

「共謀罪」 緊急学習会

—モノ言えぬ監視社会をつくる「共謀罪」法案とは—

政府が今国会で提出を狙う「共謀罪」（テロ等準備罪）法案は、犯罪の実際の行為のみを処罰する刑法の大原則に真っ向から反するだけでなく、憲法19条が保障する国民の思想や内心を処罰対象とする違憲立法です。政府は「テロ対策」を口実にしていますが、すでに日本はテロ防止のためのすべての条約を締結し国内法も整備しています。「テロ対策」の名で国民を欺き、国民の思想や内心まで取り締まろうという共謀罪は、モノ言えぬ監視社会をつくる“現代版の治安維持法”と言われています。その危険な中身と、自治体へはどのような影響があるのか岩村弁護士からお話を聞きます。ぜひ、お誘い会ってご参加ください。

■日時

2月16日（木）18時30分開会



■講師

岩村智文 弁護士
(川崎合同法律事務所)

■会場

エポック中原
第3会議室(7階)
(JR武蔵中原駅直結)

岩村智文 (いわむら のりふみ) 弁護士

法制審議会刑事法部会委員・幹事
同少年法部会委員として刑法、盗聴法、少年法
などの立法過程に参加
現在、日弁連特定秘密保護法対策本部副本部長
神奈川県弁護士会所属

